

令和 8 年度

幼稚園だより 10月号

文京区立小日向台町幼稚園

「あこがれ」の姿

園長 小岩井 聡

秋風の心地よさを感じるようになってきました。ただ、残念なことになかなか秋晴れが続かず、台風による雨が多いのも今年の秋の特徴でしょうか。その雨の合間を縫いながら、子どもたちは間近に迫った運動会に向けての取り組みを頑張っています。その様子を少しでも紹介しますね。

たんぽぽ組は、怪獣になって元気に踊っています。オリジナルの怪獣に変身するところは、それぞれの個性もあり、面白いです。先生の声に負けじと「ガオ〜!」と雄叫びを轟かせています。

年中組は、裏庭や芝生広場で探して楽しんで、大好きな昆虫に変身しています。触覚や羽を付けて、昆虫たちのフェスティバルを楽しんでいます。しかし、見どころはそれぞれが見付けた昆虫の細かい動きを、自分なりに表現しているところ。まるで、昆虫の世界に入り込んだかのような動きを見せてくれます。

そして年長組は、今年開催されたサッカーワールドカップを見て、サッカーごっこが盛り上がったことをきっかけに、サッカーをモチーフとした表現を作っています。サッカーという競技を表現するという事は難しいことですが、子どもたちが感じているサッカーの楽しさを垣間見せてくれる表現となっています。

3学年それぞれが大好きなもの、興味のあるものをベースに運動会に取り組んでいます。

それぞれ教師の動きを真似したり、自分たちで考えた動きを仲間と合わせたりしながら、全力で取り組んでいることが感じられます。

また、表現以外にも、かけっこや玉入れ、リレーなども、ルールを知ったり、チームでの競い合いを楽しんだり、少しずつ競技のコツが分かったりして、楽しみながら競えるようになってきました。

取り組んでいる様子を、私が見ていると、様々な子どもたちの様子が見られます。「やらない」と言いつつ、私の横でじっと見ている子、「今日はやらない」と期間限定で様子を見ている子。それぞれ理由はありますが、気持ちは運動会に向いていることは十分感じられます。当日も様々な姿を見せてくれることと思いますが、一人一人が楽しんでいる様子をご覧いただければと思います。

また、各学年が取り組み始めると、他学年の子どもたちはお客さんになって応援しています。自分よりも小さい学年の取り組みには「がんばれ」というエールを、温かな優しい目で送っています。年長組の取り組みには、「かっこいい」という気持ちでずっと座ってみています。終わると、「すごいね」と嬉しそうに、またあこがれの気持ちを感じているのがよく分かります。だからこそ、年長組は自分の競技だけでなく、司会も係も「みんなのために」頑張れるのだと思います。運動会という一つの行事に向けて、様々な子どもたちの気持ちがあることを感じられます。ぜひ当日、そんな子どもたちの気持ちが、思いが、たくさんの皆様に届いてくれることを願っています。



会場装飾も手作りです。